

新年のごあいさつ



国土交通副大臣
衆議院議員
望月義夫

新年あけましておめでとうございます。

旧年中は皆様から多大なご厚情を賜り、心から御礼申し上げます。

昨年安倍内閣発足に伴い、国土交通副大臣を拝命いたしました。国土交通行政における課題は数多くありますが、国民の皆様の期待に応えることができるよう、職員とチームワークを密に組み、懸命に施策を推進してまいりたいと考えています。よろしくお願いいたします。

昨年を振り返りますと、国土交通行政におきましても、諸情勢が大きく変化した一年でした。東アジア地域のめざましい経済成長等により、グローバル化が一層進展しています。我が国と東アジア地域との相互依存関係は、経済交流の拡大等により、ますます深まっていることから、我が国がアジアと世界の架け橋となるよう、より一層、国際競争力の強化に取り組んでいく必要があります。このため、国際物流の機能強化と効率化を図る基盤整備を中心として、着実に施策を推進してまいります。

くわえて昨年は、竜巻による被害など、国民の安全・安心を脅かす災害が数多く発生しました。国民が安心して生活を続けるため、人命や生活に深刻な影響を及ぼす災害について早急な対策を講ずることが極めて重要であります。そのために、防災拠点や避難路の整備等のハード施策とともに、被害を最小限に食い止めるためのハザードマップの作成や気象・海象等の情報提供体制を確保する等のソフト施

策を総合的に推進してまいります。あわせて、本年は、災害で被害を受けても重要業務を中断せず又は早期に復旧することにより、経済社会活動への影響を最小化する事業継続計画（BCP）を国土交通省においても策定することといたします。

これらの重要な課題に対処するため、無駄をなくし、効率的に事業を実施する必要があります。そのためには、これまで整備してきた港湾や空港など、社会基盤の既存ストックを有効に活用することも重要となります。ハード・ソフトの施策を一体として、効率的かつ積極的な対策を講じてまいります。

また、安倍総理は第165回国会における所信表明演説において、「美しい国、日本」の実現のため、NPO等の新たな「公」の担い手とのパートナーシップの重要性について述べられました。国民の価値観が多様化する今般において、社会基盤の整備についても行政が様々な主体と協働しつつ、地域固有の文化を大切にしながら、交通基盤のマネジメントや環境の保全等への取り組みを進めてまいります。

国民が豊かに生活できる美しい国づくりのため、国土交通省一丸となって取り組んで参りますので、皆様方には一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。また、我が国にとって大いなる発展の年となるとともに、皆様方にとって希望に満ちた年になりますことを心から祈念いたしまして、年頭のご挨拶といたします。